

II 調査結果の概要

1. 観光入込客延べ数

令和7年の島根県の観光入込客延べ数は31,245千人であり、前年と比べると、1,385千人増加(+4.6%)した。

〈観光入込客延べ数〉

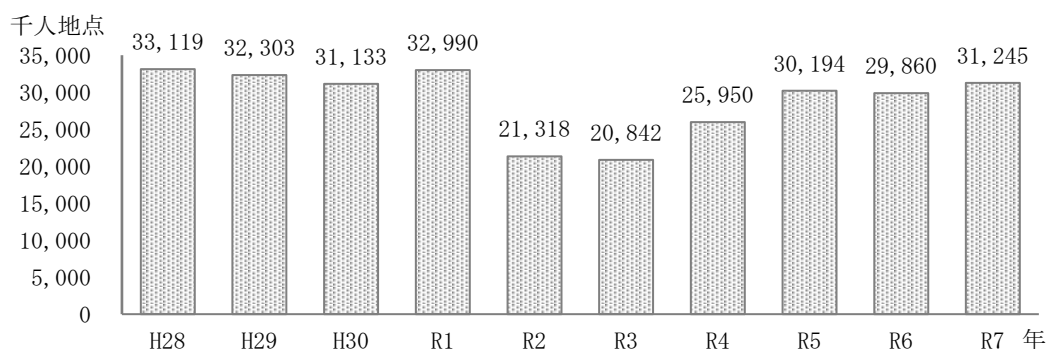
区 分	総 数	内 訳	
		県内客	県外客
観光入込客延べ数(千人地点)	31,245	6,694	24,551
構 成 比	100.0%	21.42%	78.58%
対前年増減	+4.6%	-2.6%	+6.8%

注) 県内客・県外客の別は、観光入込客延べ数に観光地点アンケート調査で得られた県内客・県外客の割合を乗じて算出した。

【主な変動要因】

- ・令和7年秋からNHK連続テレビ小説「ばけばけ」の放送による誘客効果

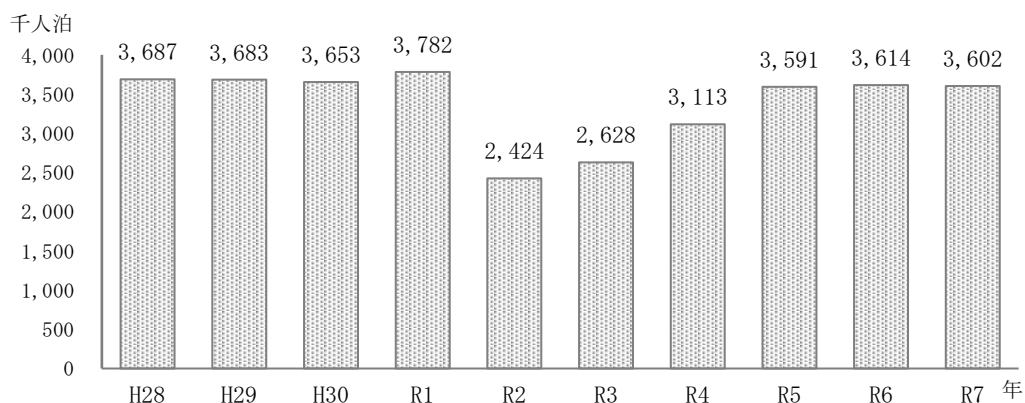
〈観光入込客延べ数の推移〉



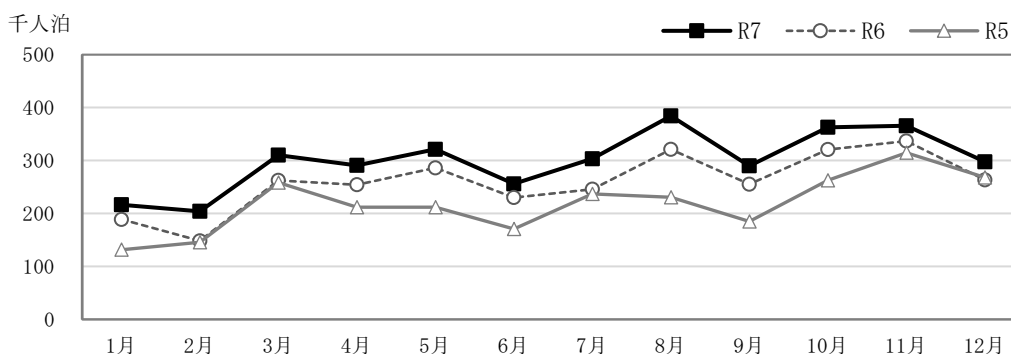
2. 宿泊客延べ数

令和7年の県内宿泊施設の宿泊客延べ数は、3,602千人泊であり、前年と比べると、12千人泊減少(-0.3%)した。

〈宿泊客延べ数の推移〉



〈月別宿泊客延べ数の推移〉



〈施設分類別宿泊客延べ数〉

区 分	ホテル 旅館	民 宿 ペンション	社会教育 施設	公共の 宿泊施設	キャンプ 場	合 計
宿泊施設数	229	149	4	32	34	448
宿泊客延べ数 (人泊)	3,253,710	110,651	30,185	132,630	74,457	3,601,633
構 成 比	90.3%	3.1%	0.8%	3.7%	2.1%	100.0%
対前年増減	+0.4%	-1.5%	-12.4%	-3.4%	-15.9%	-0.3%

3. 観光入込客実人数

観光入込客延べ数をもとに、観光地点アンケート調査等で得られた数値により推計した観光入込客実人数は、12,664千人であり、前年と比べると、214千人増加(+1.7%)した。

〈観光入込客実人数〉

区 分	総 数	宿 泊 客		日 帰 り 客	
		県内客	県外客	県内客	県外客
観光入込客実人数(千人回)	12,664	173	2,158	4,624	5,709
構 成 比	100.0%	1.4%	17.0%	36.5%	45.1%
対前年増減	+1.7%	-20.7%	+0.5%	-4.1%	+8.5%

4. 観光消費額及び経済波及効果

観光地点アンケート調査で得られた観光消費額単価に、観光入込客実人数を乗じて推計した令和7年の全県の観光消費額は、約1,197億円であり、前年と比べると、約47億円減少(-3.7%)した。

この観光消費額が県内に及ぼす経済波及効果(直接効果、一次波及効果、二次波及効果の和)は、1.38倍の約1,648億円と推計され、前年と比べると、約51億円増加(+3.2%)した。

注) 経済波及効果は、令和2年島根県産業連関表を用いて推計した。

〈1人当たり消費額〉

区 分	観光消費額単価 (円)	対前年増減	観光消費額 (百万円)
県内客・宿泊	23,001	+38.8%	3,984
県外客・宿泊	30,683	-12.5%	66,206
県内客・日帰り	3,139	+1.7%	14,517
県外客・日帰り	6,122	+5.4%	34,951
計	—	—	119,657

5. 外国人宿泊客延べ数

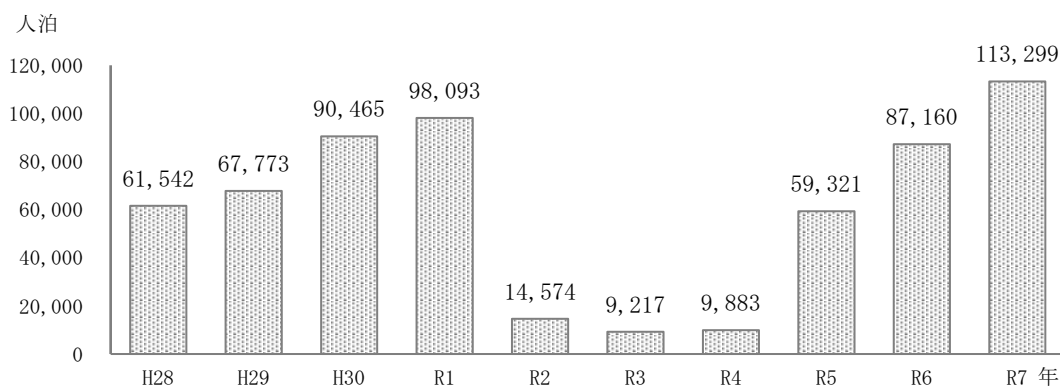
令和7年の島根県の外国人宿泊客延べ数は、113,299人泊であり、前年と比べると、約26,139人泊増加（+30.0%）した。

国・地域別では、台湾からが最も多く27,766人泊（構成比24.5%）、次いで中国15,790人泊（同13.9%）、韓国15,008人泊（同13.2%）であった。

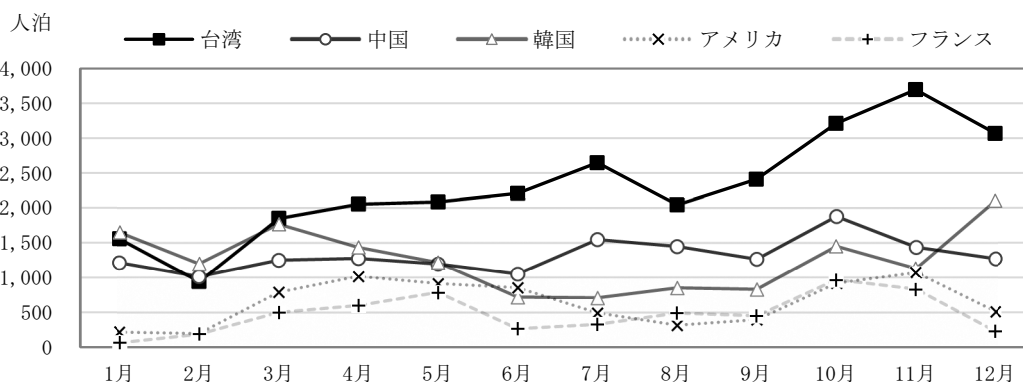
〈外国人宿泊客延べ数〉

国・地域	宿泊客延べ数		対前年 増減	国・地域	宿泊客延べ数		対前年 増減
	人泊	構成比			人泊	構成比	
台湾	27,766	24.5%	+58.0%	カナダ	1,131	1.0%	+12.5%
中国	15,790	13.9%	+33.6%	インドネシア	987	0.9%	+23.8%
韓国	15,008	13.2%	+31.1%	フィリピン	705	0.6%	+69.9%
アメリカ	7,655	6.8%	+4.0%	マレーシア	508	0.4%	+56.8%
フランス	5,671	5.0%	-6.5%	インド	465	0.4%	-49.1%
香港	5,601	4.9%	+15.0%	ロシア	256	0.2%	+40.7%
ベトナム	2,900	2.6%	+75.8%	その他ヨーロッパ	5,265	4.6%	+57.5%
オーストラリア	2,799	2.5%	+35.8%	その他アジア	1,239	1.1%	-15.0%
ドイツ	2,609	2.3%	+70.2%	中南米	472	0.4%	-29.9%
タイ	2,163	1.9%	+9.1%	その他オセアニア	418	0.4%	+9.7%
イギリス	1,998	1.8%	+55.5%	アフリカ	87	0.1%	-17.9%
シンガポール	1,853	1.6%	+47.5%	その他	9,953	8.8%	+14.8%
				合計	113,299	100.0%	+30.0%

〈外国人宿泊客延べ数の推移〉



〈月別外国人宿泊客延べ数（上位5カ国）の推移〉



6. 観光入込客延べ数の分析

(1) 主要観光地観光入込客延べ数

市町村及び観光地・観光施設ごとの観光入込客延べ数の上位10箇所は以下のとおりであった。

〈市町村〉

市町村名	入込客延べ数 (人地点)	対前年 増減
出雲市	12,129,027	+3.5%
松江市	9,509,197	+8.9%
浜田市	1,509,702	+0.4%
大田市	1,346,090	+2.7%
安来市	1,343,015	+3.7%
津和野町	1,096,782	-1.3%
雲南市	1,059,213	-0.6%
益田市	730,507	-7.7%
奥出雲町	715,057	-6.4%
邑南町	403,628	+140.5%

〈観光地・観光施設〉

観光地・観光施設名	入込客延べ数 (人地点)	対前年 増減
出雲大社(出雲市)	7,335,000	+5.1%
美保関(松江市)	1,127,972	-4.6%
日御碕(出雲市)	1,124,660	+30.0%
三瓶山(大田市)	705,100	+7.5%
松江水郷祭(松江市)	690,000	+1.5%
太鼓谷稲成神社(津和野)	569,427	+0.0%
足立美術館(安来市)	550,075	+0.6%
石見海浜公園(浜田市)	544,700	+1.0%
玉造温泉(松江市)	498,524	-1.2%
道の駅湯の川(出雲市)	479,367	+7.2%

※邑南町：「道の駅邑南の里」オープンによる調査地点の追加

※日御碕：令和6年7月の大雨等による被害からの入込客数の回復

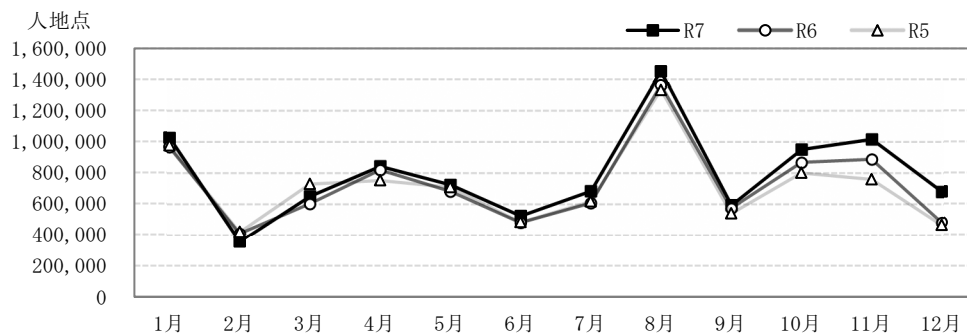
(2) 地域別観光入込客延べ数

地域別に観光入込客延べ数を比べると、出雲地域が最も多く、12,129千人(+3.5%)次いで松江地域9,509千人(+8.9%)、雲南地域2,158千人(-2.7%)、益田地域2,051千人(-3.6%)、大田地域1,984千人(+14.9%)、浜田地域1,864千人(+1.3%)、安来地域1,343千人(+3.7%)、隠岐地域206千人(+4.1%)の順となった。

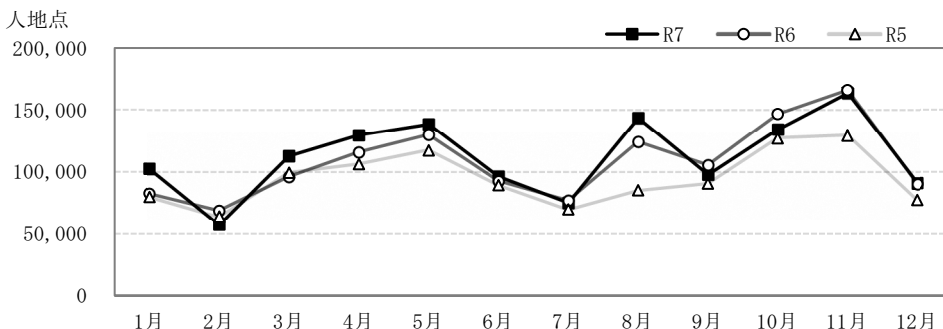
前年と比較して、出雲地域、松江地域、大田地域、浜田地域、安来地域、隠岐地域において観光入込客延べ数は増加した。

〈地域別月別観光入込客延べ数の推移〉

松江地域



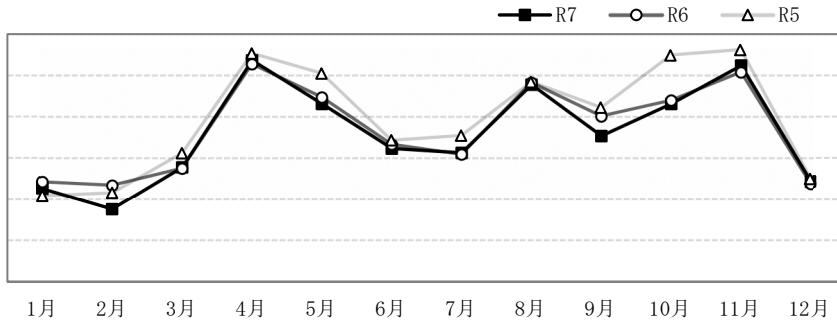
安来地域



雲南地域

人地点

300,000
250,000
200,000
150,000
100,000
50,000
0

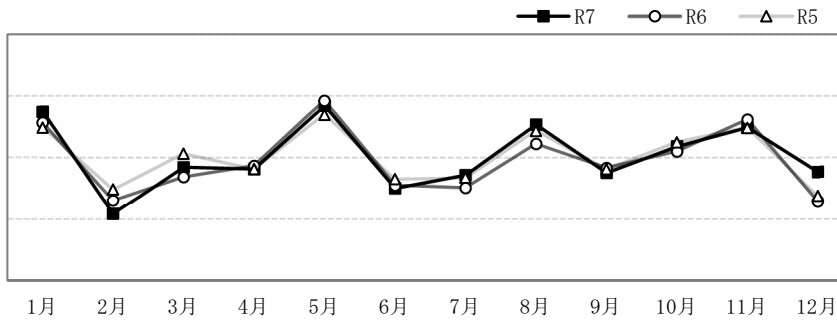


年	入込客延べ数
R7	2,157,647
R6	2,217,756
R5	2,377,493
年	増減
R7 対 R6	-2.7%
R7 対 R5	-9.2%

出雲地域

人地点

2,000,000
1,500,000
1,000,000
500,000
0

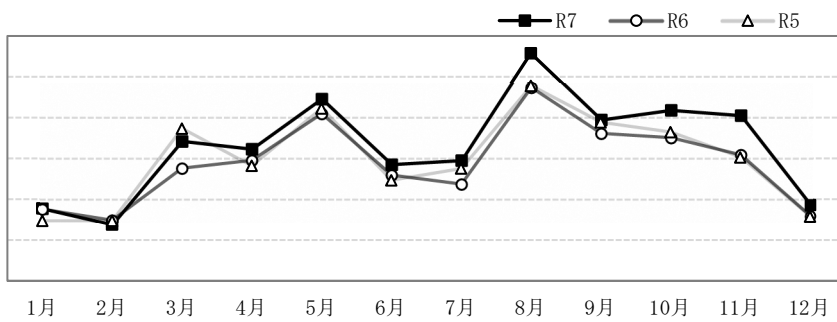


年	入込客延べ数
R7	12,129,027
R6	11,718,457
R5	12,087,648
年	増減
R7 対 R6	+3.5%
R7 対 R5	+0.3%

大田地域

人地点

300,000
250,000
200,000
150,000
100,000
50,000
0

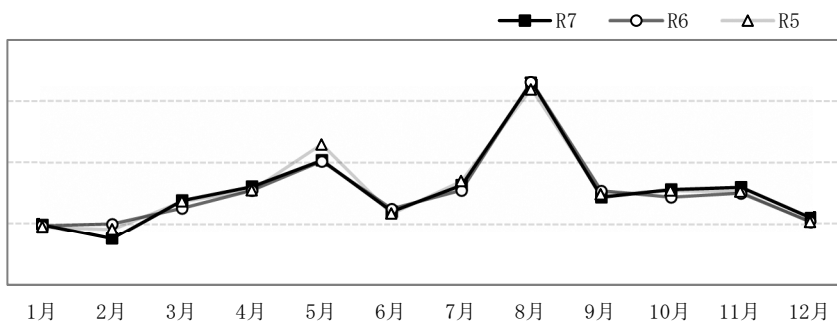


年	入込客延べ数
R7	1,984,335
R6	1,726,545
R5	1,792,009
年	増減
R7 対 R6	+14.9%
R7 対 R5	+10.7%

浜田地域

人地点

400,000
300,000
200,000
100,000
0

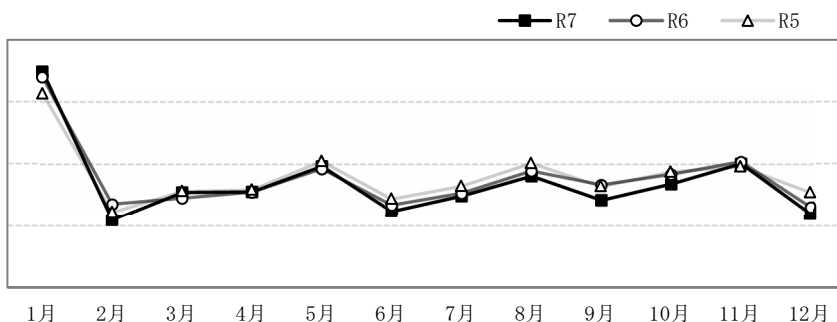


年	入込客延べ数
R7	1,864,129
R6	1,840,870
R5	1,867,988
年	増減
R7 対 R6	+1.3%
R7 対 R5	-0.2%

益田地域

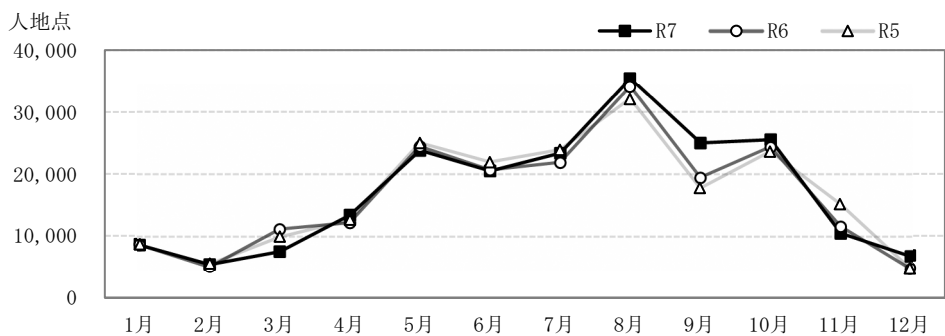
人地点

400,000
300,000
200,000
100,000
0



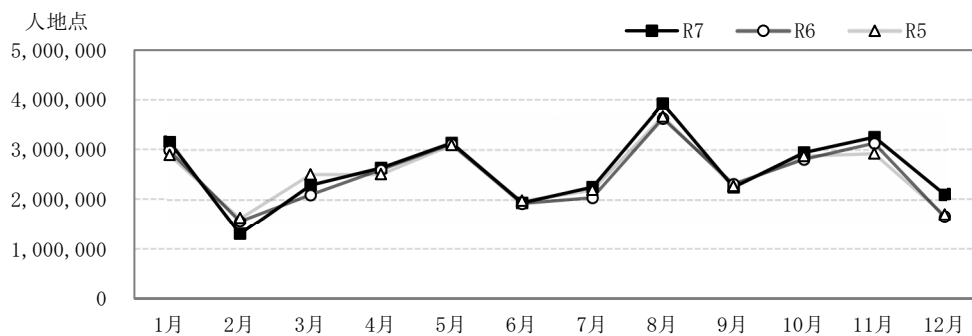
年	入込客延べ数
R7	2,051,309
R6	2,128,259
R5	2,163,507
年	増減
R7 対 R6	-3.6%
R7 対 R5	-5.2%

隠岐地域



年	入込客延べ数
R7	206,238
R6	198,181
R5	200,753
年	増減
R7 対 R6	+4.1%
R7 対 R5	+2.7%

全県

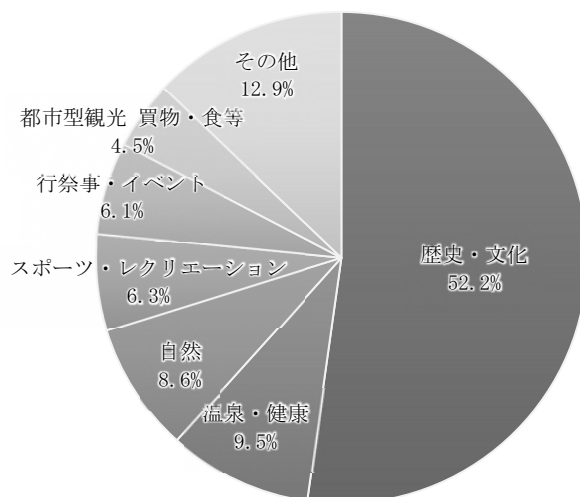


年	入込客延べ数
R7	31,244,897
R6	29,860,237
R5	30,193,591
年	増減
R7 対 R6	+4.6%
R7 対 R5	+3.5%

(3) 行動目的別観光入込客延べ数

観光客の行動目的別（中分類）では「歴史・文化」が最も多く 52.2%、次いで「温泉・健康」9.5%、「自然」8.6%、「スポーツ・レクリエーション」6.3%であった。

〈行動目的別割合〉



〈行動目的別入込客延べ数、対前年増減〉

行動目的 (中分類)	入込客延べ数 (人地点)	対前年増減
歴史・文化	16,317,895	+4.8%
温泉・健康	2,954,847	-2.7%
自然	2,674,832	+7.2%
スポーツ・レクリエーション	1,970,784	-4.7%
行祭事・イベント	1,905,641	+7.7%
都市型観光 買物・食等	1,397,312	+21.4%
その他	4,023,586	+6.6%

〈行動目的別（小分類）観光入込客延べ数の上位5区分（その他除く）〉

行動目的 (中分類)	行動目的 (小分類)	入込客延べ数 (人地点)	対前年増減
歴史・文化	神社・仏閣	11,288,096	+5.9%
温泉・健康	温泉	2,954,847	-2.7%
自然	海岸	1,546,329	+10.1%
歴史・文化	博物館	1,515,338	+1.2%
歴史・文化	美術館	1,005,020	+8.7%

7. 観光客の動向（観光地点アンケートによる）

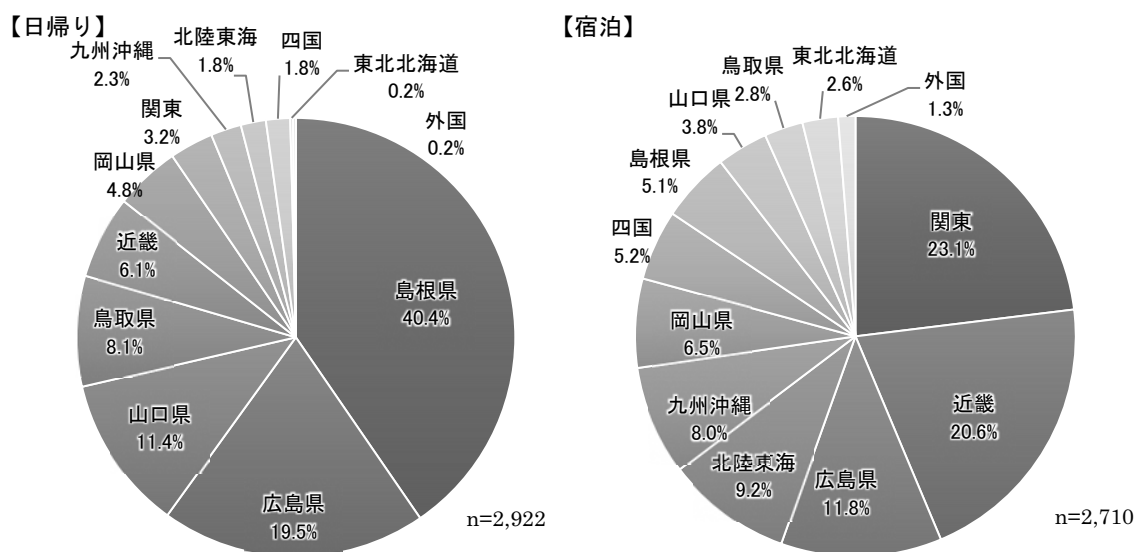
令和7年観光地点アンケート調査によって得られたデータをもとに、観光客の動向を分析した。

（1）発地（住所）

ア. 日帰り・宿泊別入込客割合

日帰りでは、島根県が最も多く 40.4%、次いで広島県 19.5%であった。山口県は前年から、1.0ポイント増加し、広島県は1.0ポイント減少した。

宿泊では、関東が最も多く 23.1%、次いで近畿 20.6%であった。構成比は、前年から四国が 0.8ポイント増加し、近畿が 1.3ポイント減少した。

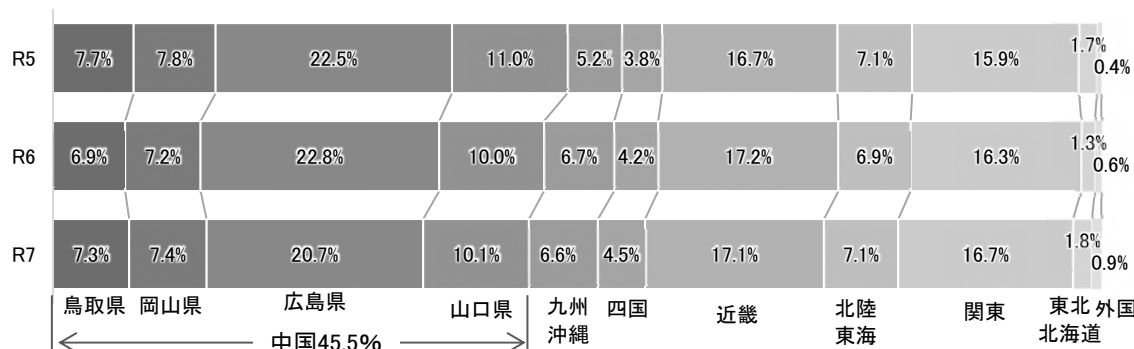


		東北	関東	北陸	近畿	中国					四国	九州	外国	
		北海道		東海			鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県		沖縄	
日 帰 り	R6	0.2%	3.3%	1.5%	5.9%	84.1%	7.5%	40.5%	5.0%	20.6%	10.5%	2.3%	2.6%	0.2%
	R7	0.2%	3.2%	1.8%	6.1%	84.4%	8.1%	40.4%	4.8%	19.5%	11.4%	1.8%	2.3%	0.2%
	対前年増減	-0.0%	-0.1%	+0.4%	+0.3%	+0.3%	+0.6%	-0.1%	-0.2%	-1.0%	+1.0%	-0.5%	-0.4%	+0.0%
宿 泊	R6	1.9%	23.6%	10.0%	21.9%	29.4%	2.5%	3.7%	6.0%	13.3%	4.0%	4.3%	8.1%	0.8%
	R7	2.6%	23.1%	9.2%	20.6%	30.1%	2.8%	5.1%	6.5%	11.8%	3.8%	5.2%	8.0%	1.3%
	対前年増減	+0.7%	-0.5%	-0.7%	-1.3%	+0.6%	+0.4%	+1.4%	+0.5%	-1.5%	-0.2%	+0.8%	-0.1%	+0.4%

イ. 発地別県外入込客割合

県外客の発地別入込客割合は、広島県からが最も多く 20.7%、次いで近畿 17.1%、関東 16.7%であった。

〈発地別県外入込客割合の推移〉



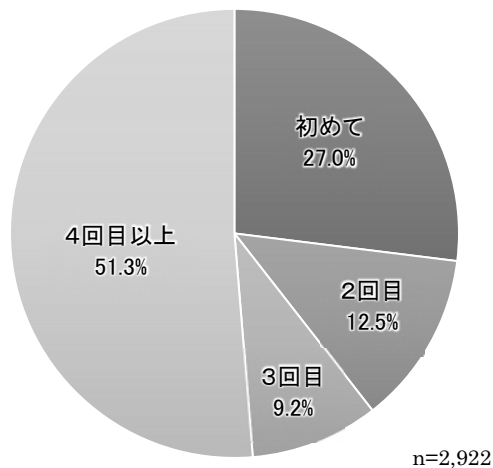
n=4,312

(2) 旅行回数

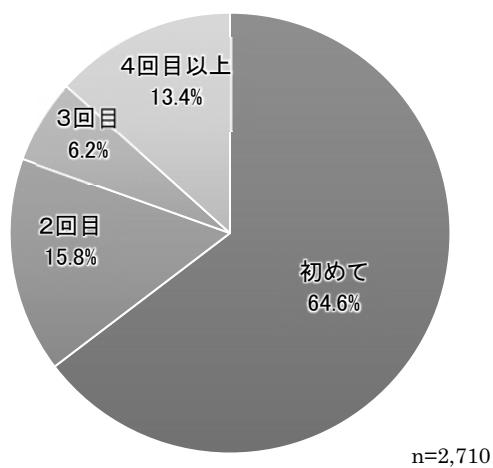
ア. 観光施設の訪問回数

観光施設の訪問回数は、日帰りの場合は「4回目以上」が最も多く、宿泊の場合は「初めて」が多かった。

【日帰り】



【宿泊】

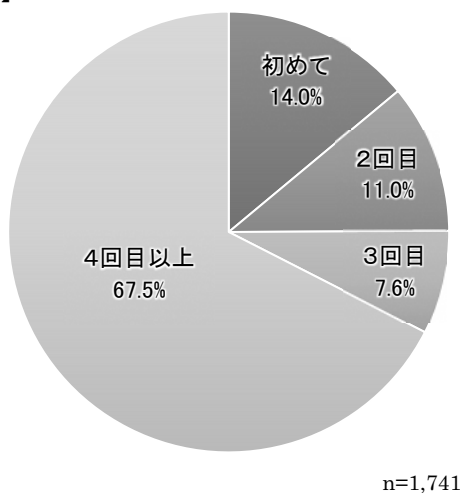


イ. 島根県の訪問回数

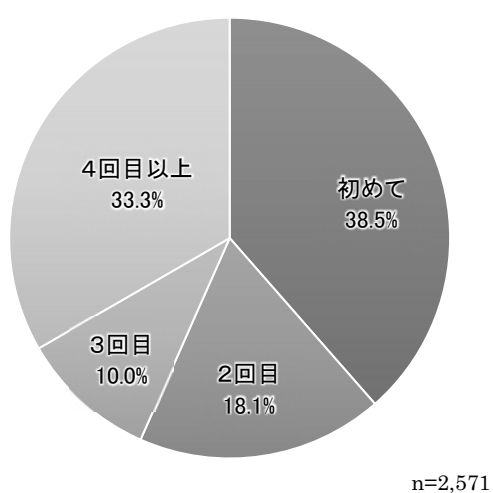
※この項目は県外客を対象に「島根県への訪問回数」を質問した。

島根県への訪問回数は、日帰りの場合は「4回目以上」が最も多く、宿泊の場合は「初めて」が多かった。

【日帰り】



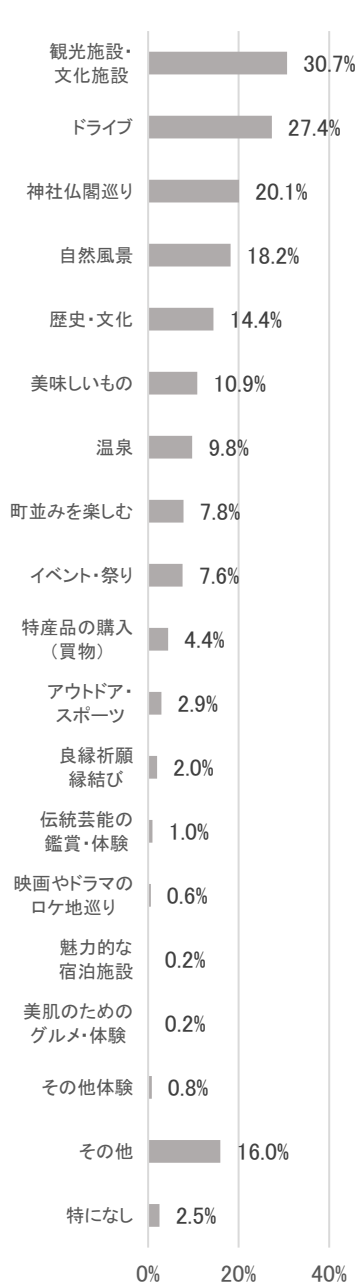
【宿泊】



(3) 観光理由

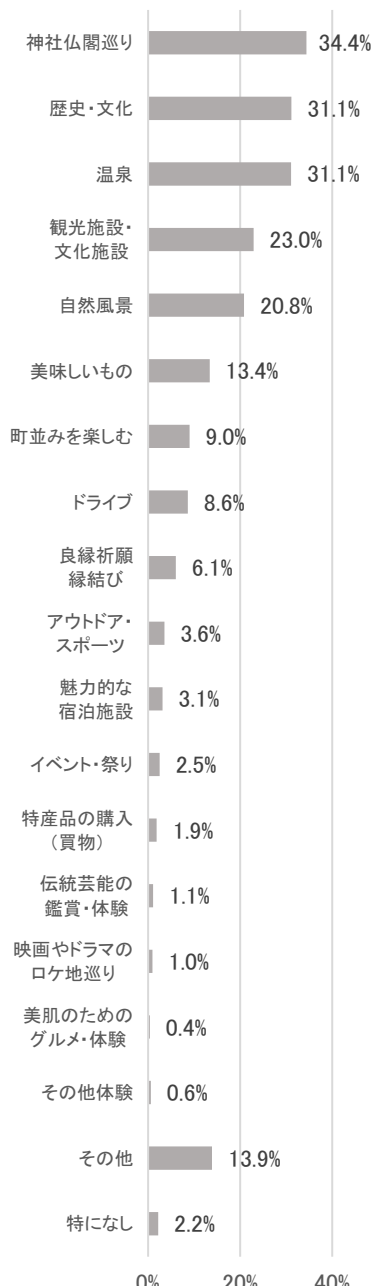
観光理由（今回島根県の観光に出かけた理由）は、日帰りでは「観光施設・文化施設」の割合が最も多く3割、宿泊では「神社仏閣巡り」「歴史・文化」「温泉」の割合が多く3割以上を占めていた。

【日帰り】



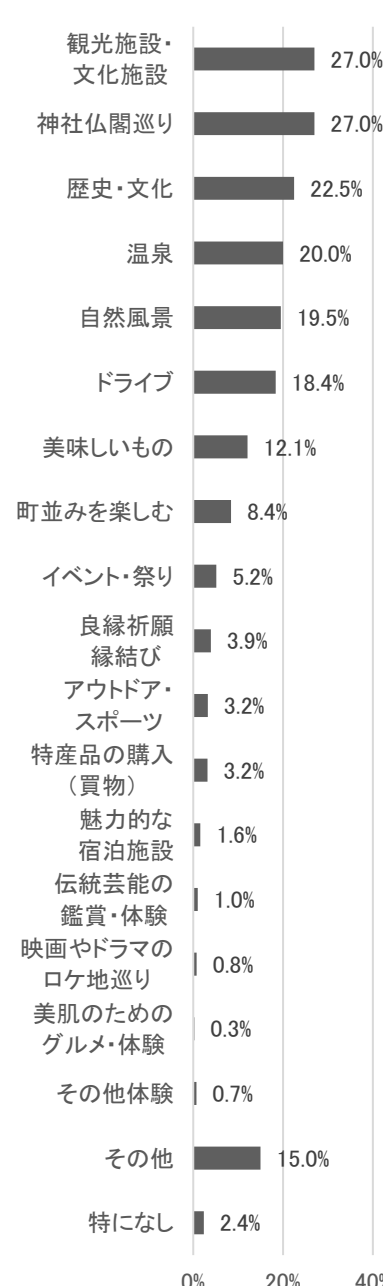
n=2,922

【宿泊】



n=2,710

【全体】



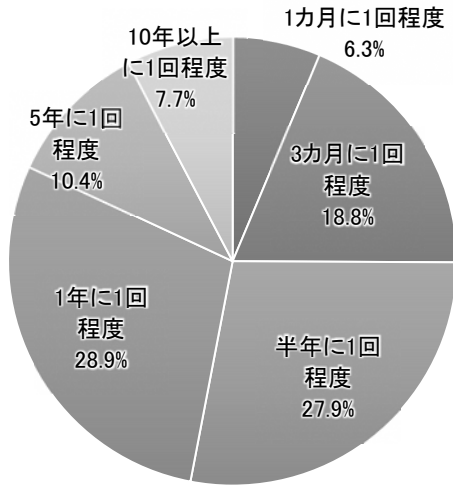
n=5,632

(4) 旅行頻度

ア. 国内宿泊旅行の頻度

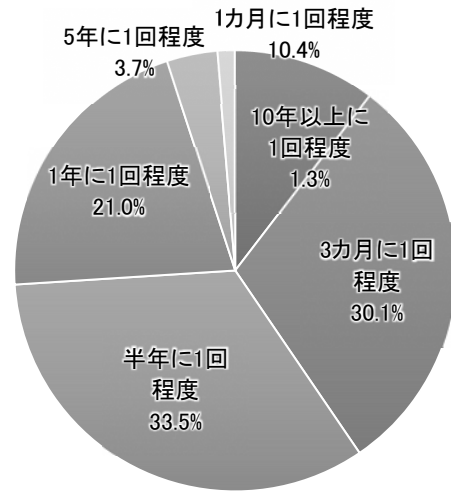
国内宿泊旅行の頻度は、日帰りでは「1年に1回程度」の割合が最も多く28.9%、宿泊では「半年に1回程度」の割合が最も多く33.5%であった。

【日帰り】



n=2,922

【宿泊】

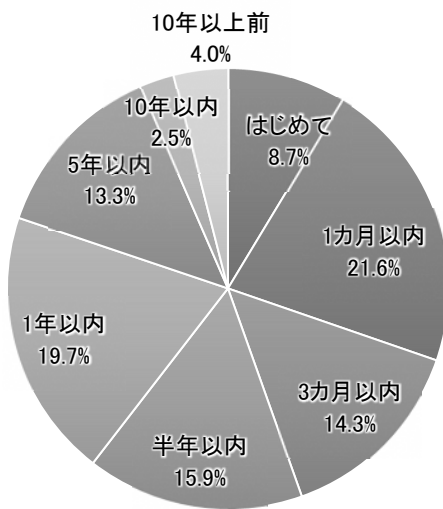


n=2,710

イ. 前回の島根県の観光

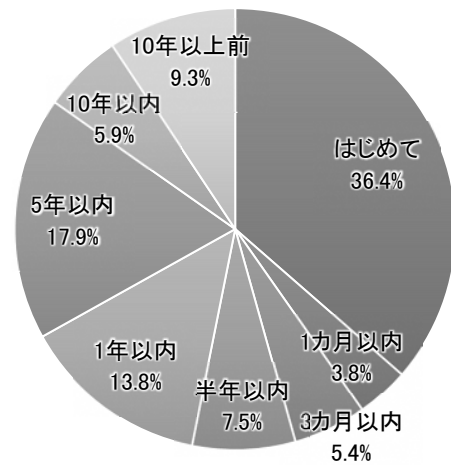
前回の島根県の観光は、日帰りでは「1カ月以内」の割合が最も多く21.6%、宿泊では「はじめて」の割合が最も多く36.4%であった。

【日帰り】



n=2,922

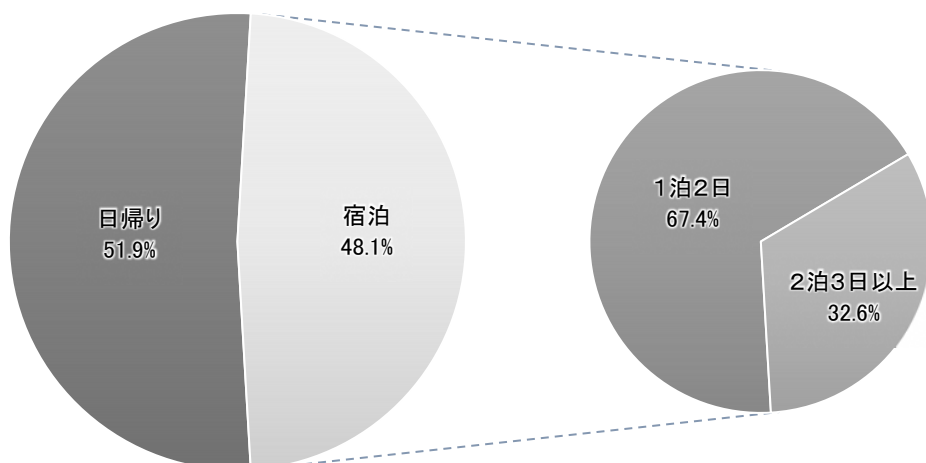
【宿泊】



n=2,710

(5) 旅行日程

「日帰り」が51.9%、「宿泊」が48.1%であり、「宿泊」のうち「1泊2日」が67.4%であった。



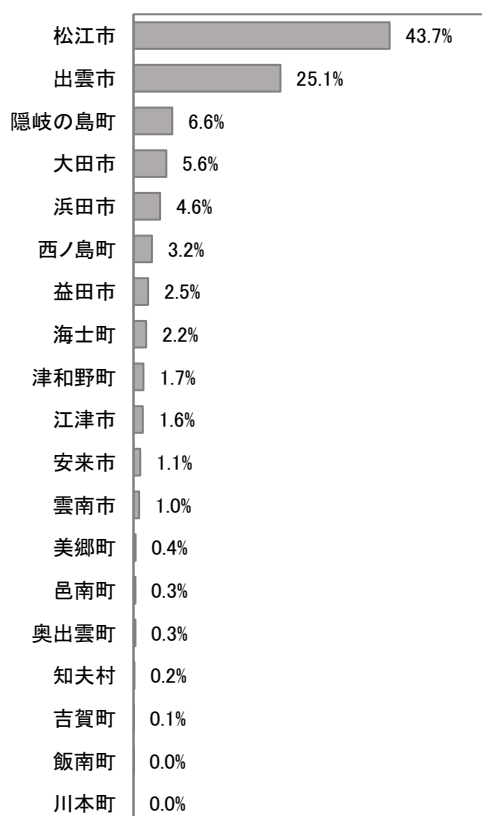
n=5,632

(6) 宿泊する市町村及び宿泊施設

宿泊する市町村では「松江市」が43.7%、次いで「出雲市」が25.1%であり、全体の約7割(68.8%)を占めていた。

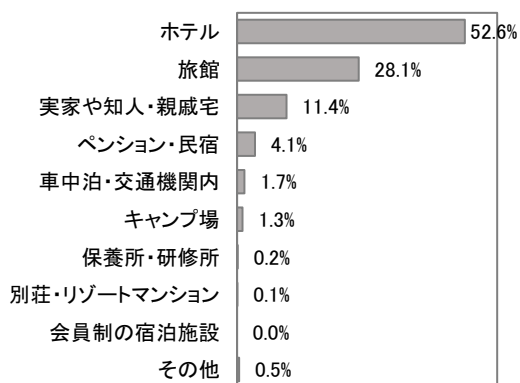
宿泊施設では「ホテル」が52.6%、次いで「旅館」が28.1%であり、全体の約8割(80.6%)を占めていた。

【市町村】



n=3,933

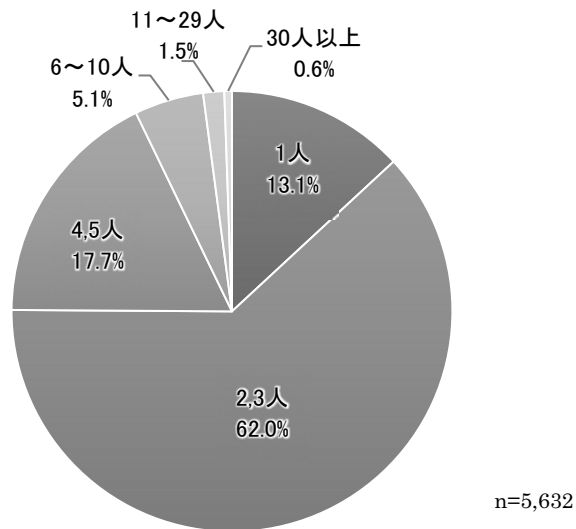
【宿泊施設】



n=3,933

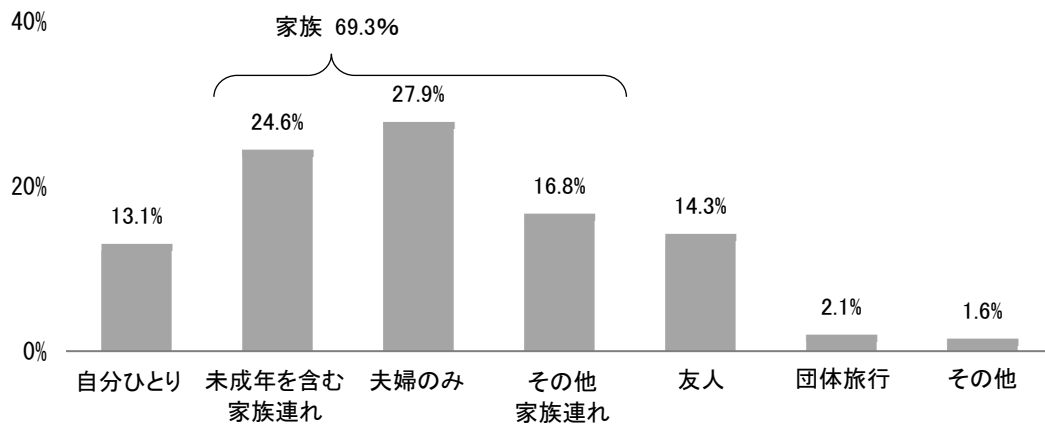
(7) 同行人数

「2,3人」が最も多く62.0%、次いで「4,5人」が17.7%であった。



(8) メンバー構成

「家族」が最も多く69.3%、次いで「友人」が14.3%であった。

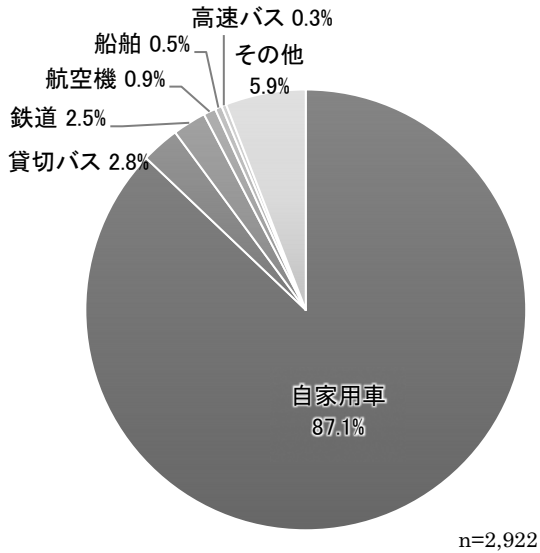


(9) 利用交通機関

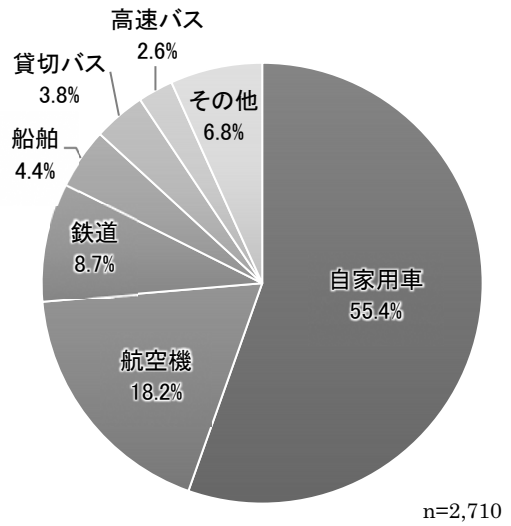
ア. 日帰り・宿泊別利用交通機関割合

日帰りでは、「自家用車」が最も多く87.1%、次いで「貸切バス」が2.8%であった。
 宿泊では、「自家用車」が最も多く55.4%、次いで「航空機」18.2%、次いで「鉄道」8.7%であった。

【日帰り】



【宿泊】

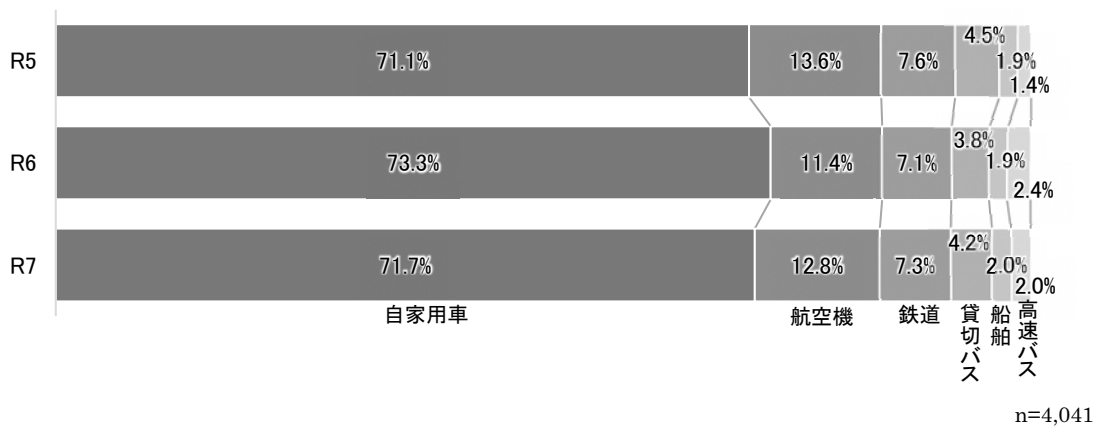


イ. 県外利用交通機関割合

県外客の利用交通機関をみると、「自家用車」が最も多く71.7%、次いで「航空機」12.8%であった。

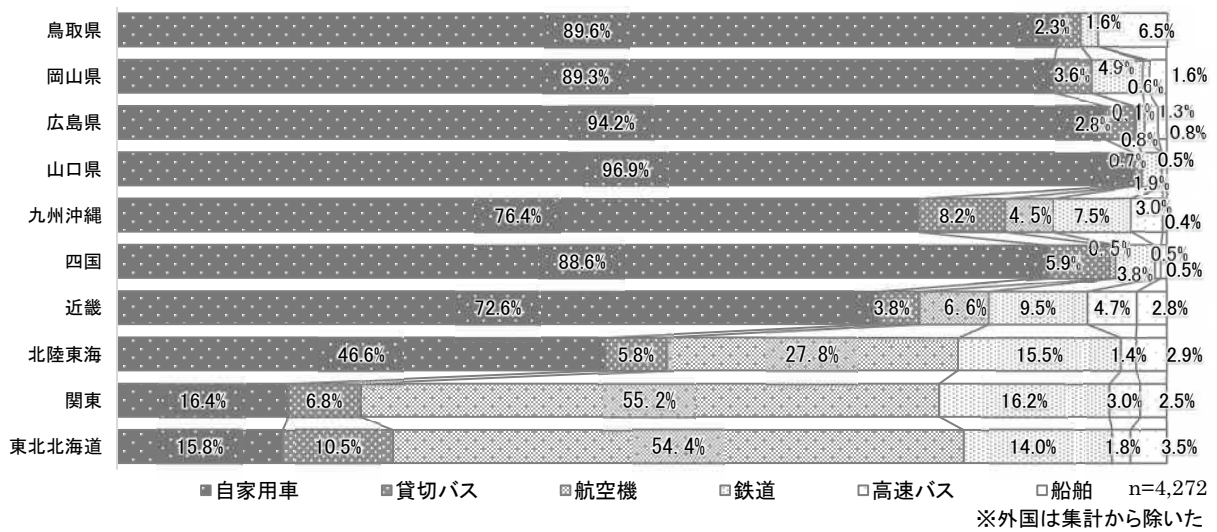
前年から「自家用車」の割合は1.6ポイント減少し、「航空機」の割合は1.4ポイント増加した。

〈県外利用交通機関割合の推移〉



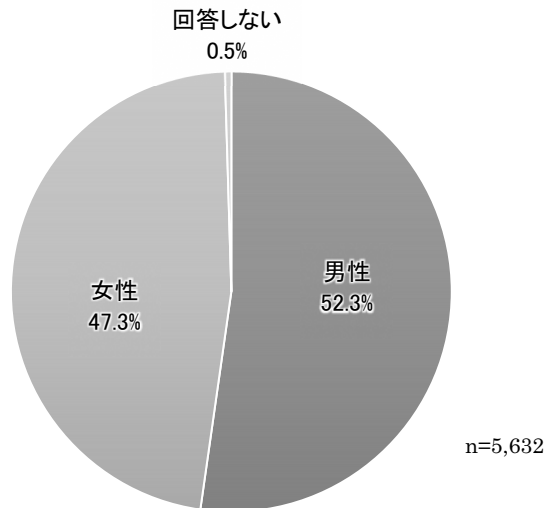
ウ. 県外地域別利用交通機関割合

県外客について地域別に利用交通機関をみると、「自家用車」は鳥取県が最も多く 89.6%、次いで岡山県が 89.3%であった。また「航空機」は関東が 55.2%と最も多かった。



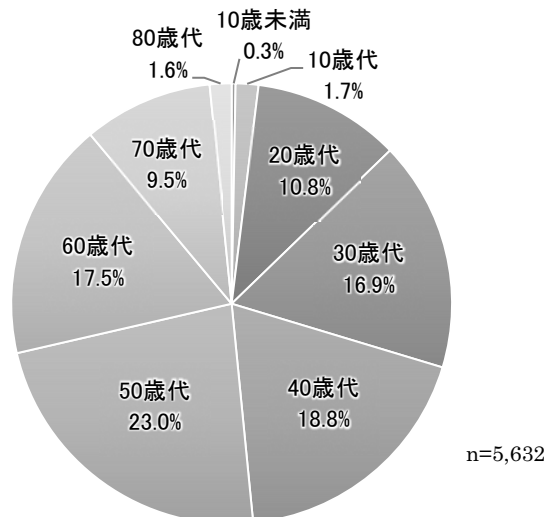
(10) 性別

「男性」が 52.3%、「女性」が 47.3%であった。



(11) 年齢

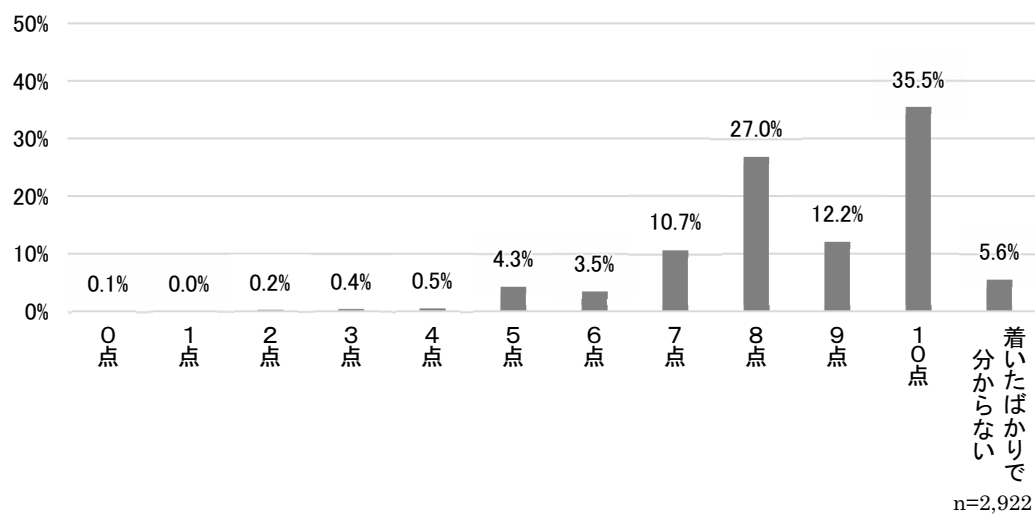
「30歳代」から「60歳代」がそれぞれ約2割ずつを占めていた。



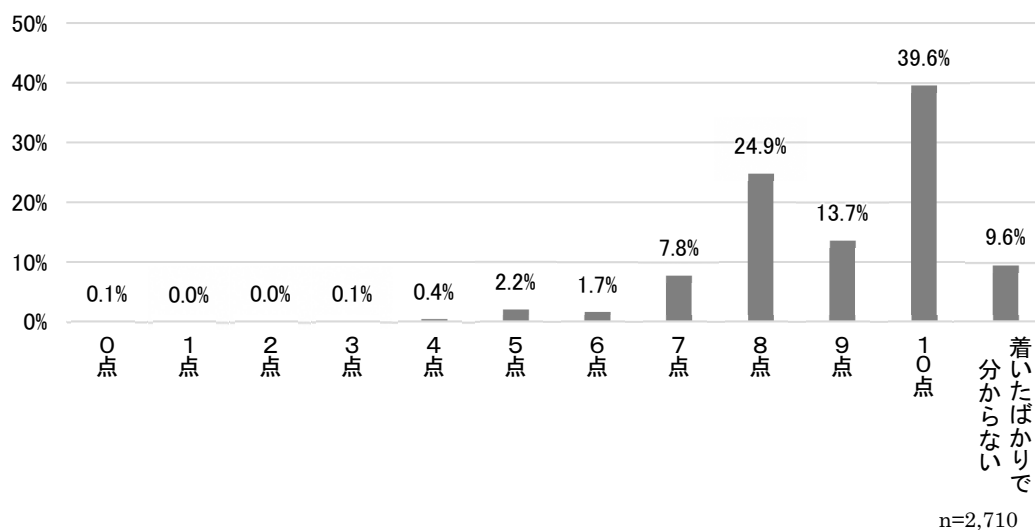
(12) 満足度

日帰り、宿泊ともに、10点が最も多く、約4割を占めていた。

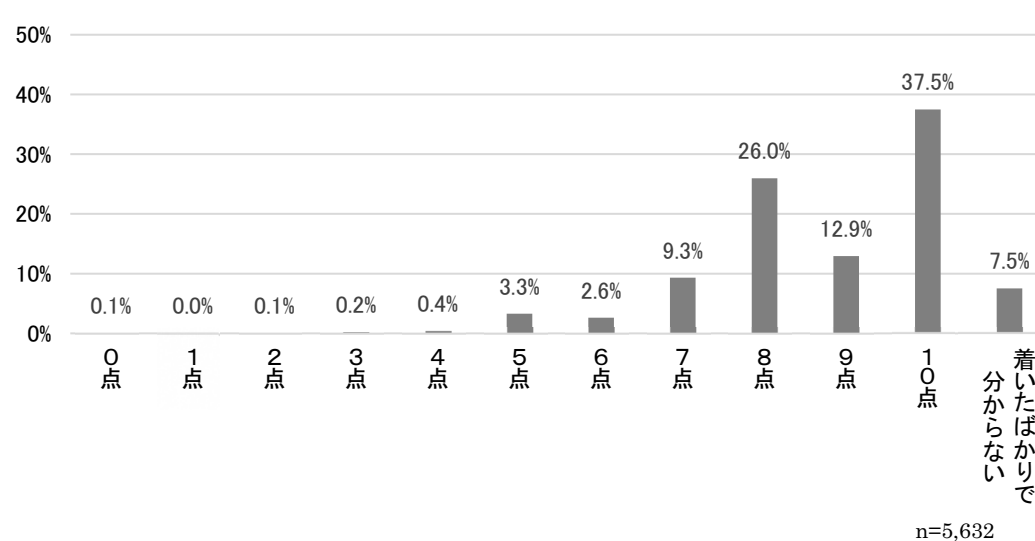
【日帰り】



【宿泊】



【全体】

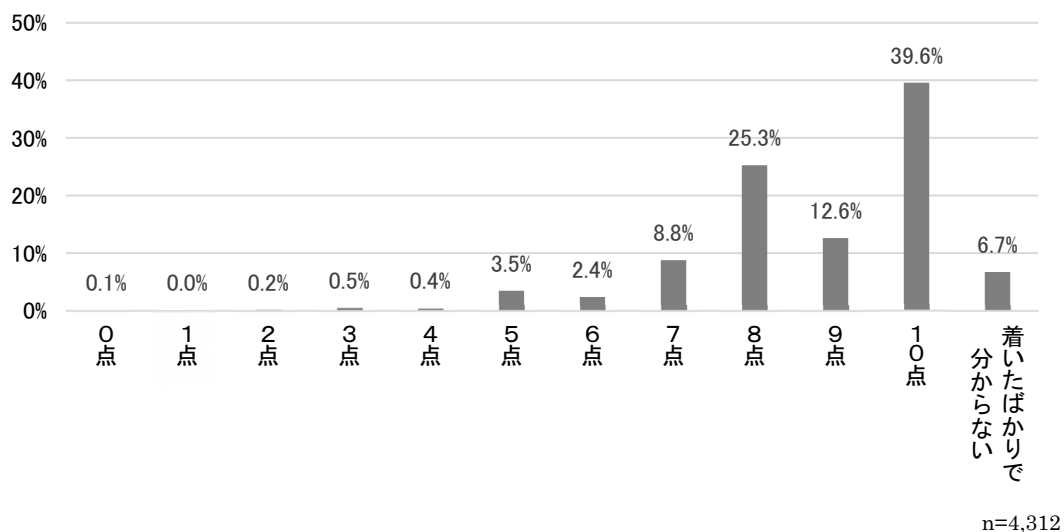


(13) 推奨意向

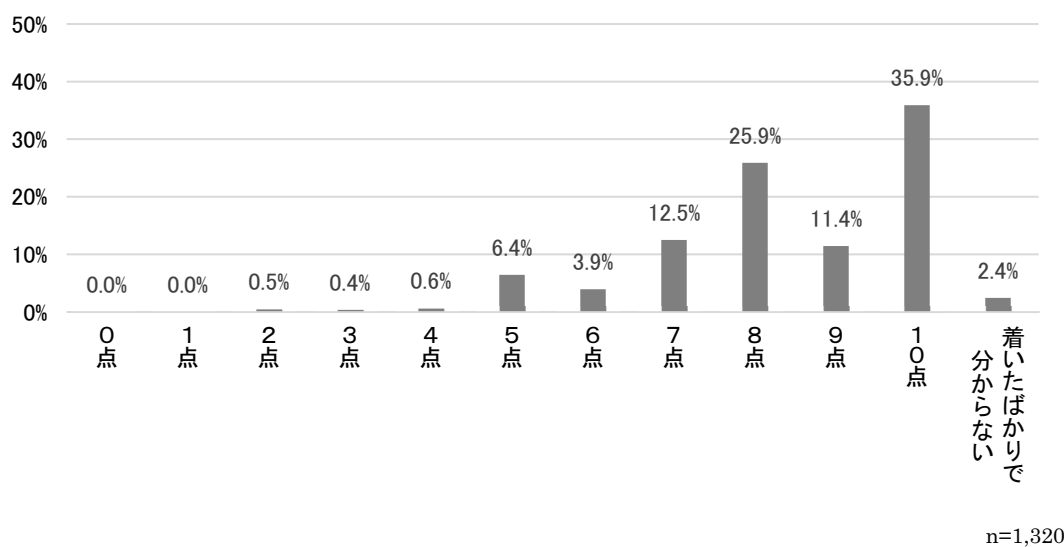
ア. 島根県での観光の推奨意向

県外客、県内容ともに「島根県での観光の推奨意向（親しい人に島根県での観光をおすすめしたいと思うか）」は、10点が多く、約4割を占めていた。

【島根県での観光の推奨意向～親しい人に島根県での観光をおすすめしたいと思うか～（県外客）】

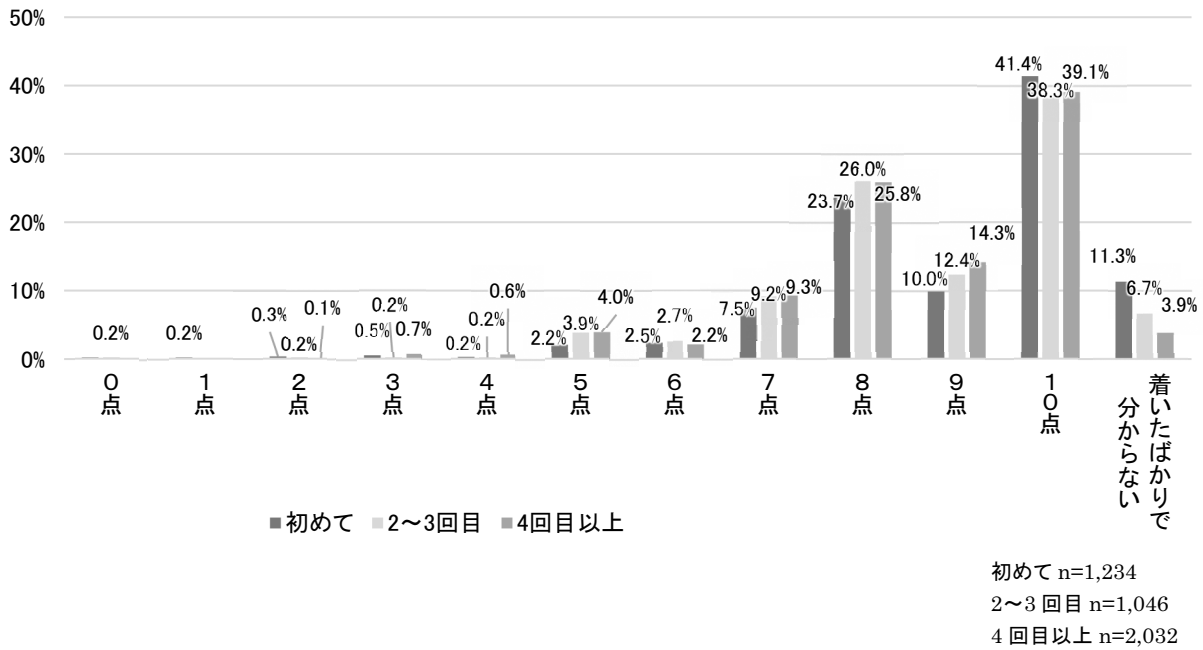


【島根県での観光の推奨意向～親しい人に島根県での観光をおすすめしたいと思うか～（県内容）】



イ. 島根県への訪問回数別推奨意向

県外客の「島根県での観光の推奨意向（親しい人に島根県での観光をおすすめしたいと思うか）」について訪問回数別にみると、評価は同程度であった。



ウ. 観光施設への訪問回数別推奨意向

県内客の「島根県での観光の推奨意向（親しい人に島根県での観光をおすすめしたいと思うか）」について訪問回数別にみると、県外客同様に評価は同程度であった。

